

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第4号

令和7年7月18日



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103



七中 HP URL

基礎・基本を大切に

校長 水越 伸朗

73日間の1学期が終わります。今学期も、一生懸命に諸活動に取り組む子どもたちの姿を随所で見ることができました。このように、子どもたちが学校生活を送れるのも、ご家庭においてお子様を励まし、応援していただいているからだと思います。日頃からの、保護者の皆様のご支援、ご理解に感謝いたします。

明日からは夏休みとなります。ご家庭で過ごす時間が長くなりますので、中学校卒業後の進路をはじめ、将来の夢、職業等についてお子様と話していただくと、2学期以降の学校生活への意欲も高まると思います。七中生全員が、有意義な夏休みを過ごすことを願っています。

さて、本日の終業式では、「基礎・基本を大切に」という話をしました。その一部を紹介します。
～終業式講話より～

（前略） 今日は今開催されている大相撲についてお話しします。今場所の話題は何といっても横綱に昇進し、新横綱での優勝をめざしている大の里関です。その、大の里関の横綱昇進が決まった時の話です。師匠である二所ノ関親方が、「入門してからしっかり体づくりをして地道にやり続けてきた稽古が、少しずつ身になってきたと思う。つまらないような稽古をいちばんやってきたのが大の里なので、稽古はうそをつかないというのがはっきり出た。」と話されていました。この話を聞いた時、私は「やはり、相撲の世界も基礎・基本が大切なのだな。」と思いました。師匠の言った「つまらないような稽古」とは相撲の稽古の中での基本中の基本と言われる、四股、すり足、てっぼうなどのことです。このような基本の稽古をしっかりと行ってきたから力が付いたということだと思います。学習に置き換えると、数学の正負の計算、国語の漢字練習や文章を読むことが当てはまると思います。スポーツに置き換えると、パスやキャッチボールなどが当てはまることでしょう。大の里関も自身で「この部屋に入って四股、すり足、てっぼうといった基礎を大事にしてきて、その結果が身になったと思う。」と話されています。皆さんも、基礎・基本を大切にして学習やスポーツ等に取り組み、力をつけていってください。（後略）

保護者の皆様

終業式講話の中で、「体罰や性暴力は許されないこと、教職員等の言動で困ったことがあれば相談すること」について話しました。また、児童・生徒向け相談シート、子ども向け相談窓口一覧（「一人で悩まず相談しよう」）を配布しました。お子様が「おかしいな」「モヤモヤするな」「イヤだな」と感じるものがあれば学校に御相談いただくか、相談シートや各種相談窓口を御利用ください。

明日からの夏休み、子どもたちが心と体の健康を大切に、充実した生活を送ることを願っております。